資料２－１

中央区高齢者の生活実態調査報告書（案） 一部抜粋

第１部　　調査の概要

１ 調査の目的

本調査は、令和６(2024)～令和８(2027)年度を計画期間とする「中央区高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画」の策定に向けて、中央区の一般高齢者等及び要介護・要支援認定者の生活実態、介護保険サービスを提供している事業者及び医療機関の実態等を把握し、必要な資料を得ることを目的として実施した。

〔調査の全体設計〕

<table>
<tr><th></th><th>属性
年齢</th><th>一般高齢者等</th><th>要支援認定者</th><th>要介護認定者</th></tr>
<tr><td rowspan="2">高齢者等向け調査</td><td>55～64 歳</td><td rowspan="2">調査Ａ
高齢者福祉に関する
生活実態調査</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>65 歳以上</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">介護サービス事業所調査</td><td colspan="3">調査Ｅ　介護サービス事業所調査</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療機関調査</td><td colspan="3">調査Ｆ　在宅医療・介護に関する調査</td></tr>
</table>

◎対象者の抽出基準日：令和４年 10 月１日

◎要介護・要支援認定者には、40 歳～64 歳の第２号被保険者は含まない。

３ 調査方法及び客体

(1) 調査期間

令和４年 10 月 20 日（木）～令和４年 11 月９日（水）

(2) 調査方法

郵送配布、郵送又はインターネットにて回収、ハガキによる督促礼状１回

（3）各調査の客体、内容、回収状況等

調査名	調査客体	調査内容	回収状況
調査C 要介護・要支援認定者調査	要介護・要支援認定者 【抽出調査】	要介護・要支援認定を受けた地域の高齢者の生活実態、生活状態からみた課題やニーズを把握する。	・対象者数：3,500 人 ・有効回答数：2,029 件 （郵送:1,905、インターネット:124） ・回収率：58.0%

第２部　調査結果

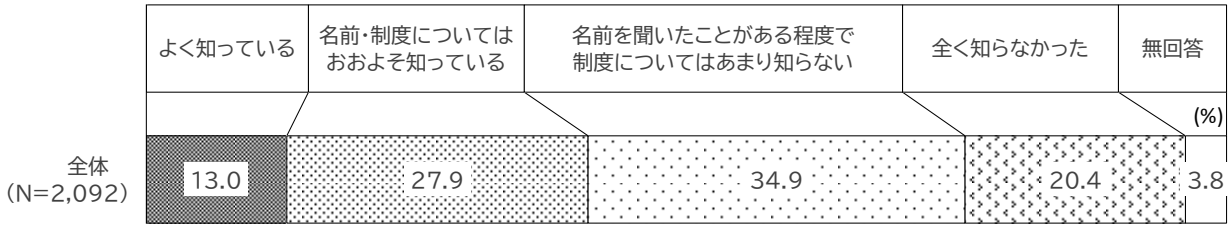
５．相談や権利擁護について

⑵ 成年後見制度

① 成年後見制度の認知度

「名前を聞いたことがある程度で制度についてはあまり知らない」（34.9%）が最も多く、「名前・制度についてはおおよそ知っている」（27.9%）が続いている。

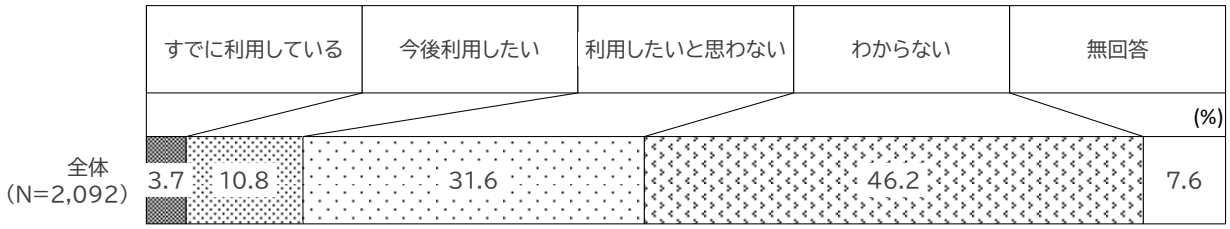
問 29.　あなたは、「成年後見制度」について内容をどの程度ご存知ですか。（○は１つ）



② その利用意向

「わからない」（46.2%）が最も多く、「利用したいと思わない」（31.6%）が続いている。

問 30.「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（○は１つ）

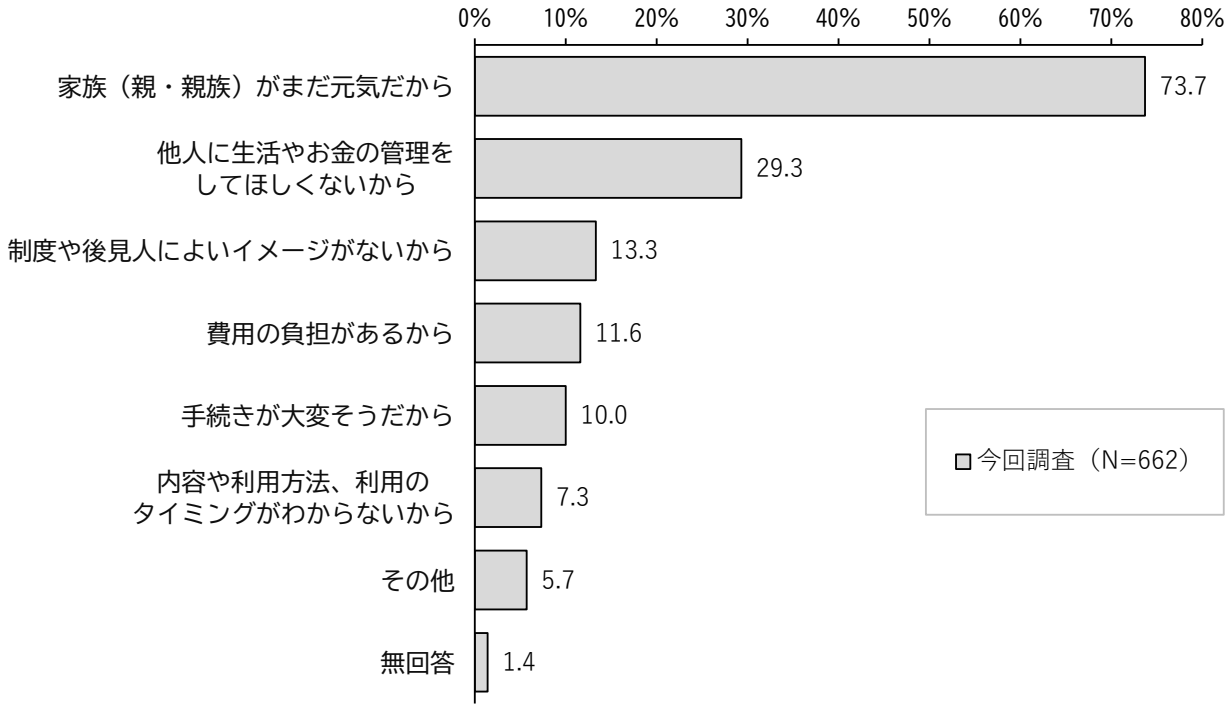


③ 利用したいと思わない理由

「家族（親・親族）がまだ元気だから」（73.7%）が最も多い。

【問 30 で「３．利用したいと思わない」と回答の方】

問 30-1.「成年後見制度」を利用したいと思わない理由を教えてください。【複数回答】



＜その他の回答＞

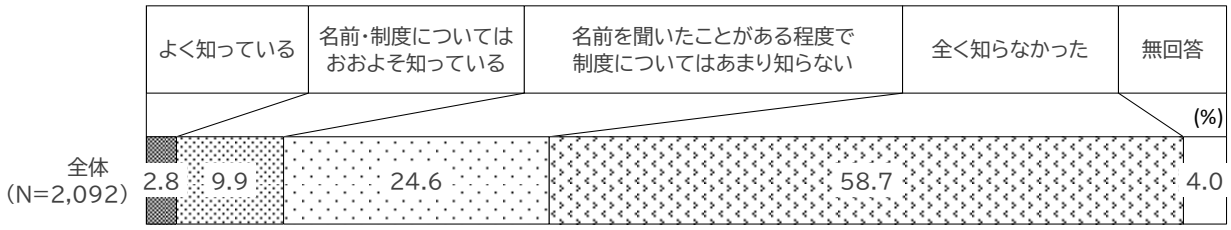
〇家族信託を利用している 〇所有している財産がない 〇必要ない

⑶ 権利擁護支援事業

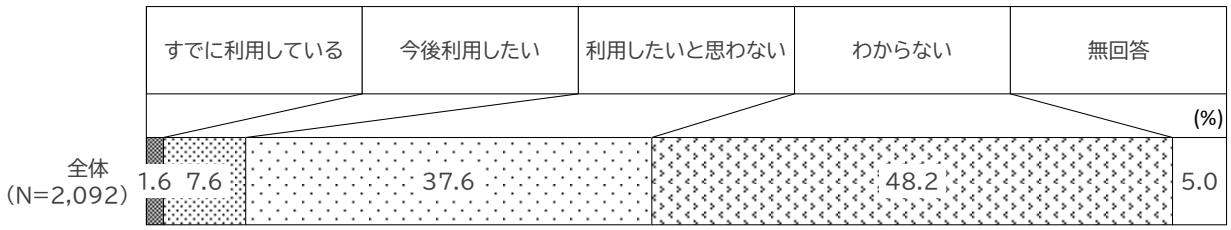
① 権利擁護支援事業の認知度

「全く知らなかった」（58.7%）が最も多い。

問 31.「権利擁護支援事業」について内容をどの程度知っていますか。（○は１つ）



② 利用意向

「わからない」（48.2%）が最も多く、「利用したいと思わない」（37.6%）が続いている。

問 32.「権利擁護支援事業」を利用したいと思いますか。（○は１つ）